

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークⅡ (4 単位)	3. 科目番号	SNMP3356 SSMP2156
2. 授業担当教員	植木 是		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	事前に「ソーシャルワークⅠ」を履修しておくことが望ましい。		
7. 講義概要	<p>ソーシャルワークⅡは、ソーシャルワークⅠで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス（相談援助の展開過程）についての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術、アウトリーチや交渉といった専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「相談援助」について理解を深めるとともに、その構造と機能について理解する。 2.人と環境の相互作用について理解する。 3.相談援助における援助関係について理解する。 4.相談援助の展開過程において、各過程の目的、方法（技術）について理解する。 5.アウトリーチの目的、方法について理解する。 6.相談援助における面接技術について理解する。 7.相談援助における記録技術について理解する。 8.相談援助における交渉技術について理解する。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	学生の理解度に応じた課題を適宜出す。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『相談援助の理論と方法Ⅰ（新・社会福祉士養成講座7）』第3版、中央法規出版、2015年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解) ・8つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践) ・8つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度) <p>○評定の方法 レポート課題 (25%) 定期試験 (50%)、受講態度 (25%) による総合的評価</p>		
12. 受講生へのメッセージ	「ソーシャルワークⅠ」に引き続き、相談援助に必要な理論・方法について学んでいく。実践現場で使える生きた知識として身につけることを期待する。		
13. オフィスアワー	授業時間の前後に相談に応じる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション： 「ソーシャルワークⅡ」を学習するにあたっての説明と確認 「ソーシャルワークⅠ」の振り返り	事前学習	「社会福祉」について自分の言葉で説明できるよう、ノートにまとめておく。
		事後学習	講義を踏まえて「社会福祉」について自分の言葉でノートにまとめる。
第2回	社会福祉の概念的理解： 「社会福祉」をどのように説明するか？	事前学習	「社会福祉」について自分の言葉で説明できるよう、ノートにまとめておく。
		事後学習	講義を踏まえて「社会福祉」について自分の言葉でノートにまとめる。
第3回	ソーシャルワークの概念と範囲： 映画『ターミナル』からソーシャルワークを考える	事前学習	テキスト pp. 2～18 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第5回の講義時に提出する。
第4回	ソーシャルワークの概念と範囲： 国際的ソーシャルワークの定義について理解する	事前学習	テキスト pp. 2～18 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第5回の講義時に提出する。
第5回	ソーシャルワークの職種と専門性： ソーシャルワークの「仕事」と「職場」	事前学習	テキスト pp. 19～25 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第7回の講義時に提出する。
第6回	ソーシャルワークの理念と原則： ソーシャルワーク実践の根底にあるものは何かを知る	事前学習	「社会正義」について調べ、自分の言葉で説明できるようにする。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第7回の講義時に提出する。

第7回	ソーシャルワークの倫理： 倫理綱領とは何か？	事前学習	社会福祉士の倫理綱領を一読し、その内容について教員へ確認すべき事項を箇条書きする。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第9回の講義時に提出する。
第8回	ソーシャルワーク実践上のディレンマ	事前学習	社会福祉士の倫理綱領を一読し、その内容について教員へ確認すべき事項を箇条書きする。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第9回の講義時に提出する。
第9回	総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践Ⅰ： 事例を通じてソーシャルワークの構造を知る	事前学習	第8回に配布されたレジュメに記載されている課題（ジェノグラムを見て考える）について自己の考えをノートにまとめる。
		事後学習	ワークシートの設問3・4について各自記入する。
第10回	総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践Ⅱ： 事例を通じてソーシャルワークに必要な視点と態度を学ぶ	事前学習	第8回に配布されたレジュメに記載されている課題（ジェノグラムを見て考える）について自己の考えをノートにまとめる。
		事後学習	ワークシートの設問3・4について各自記入する。
第11回	総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践Ⅲ： 事例を通じて「人と環境の相互作用」を理解する	事前学習	ワークシート内容に目を通し、事例の概要を明確にする。テキスト pp. 53～67 を参照。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第13回の講義時に提出する。
第12回	ソーシャルワークにおけるニーズ： ニーズの多様性について事例を用いて理解を深める	事前学習	ワークシート内容に目を通し、事例の概要を明確にする。pp. 44～51 を参照。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第13回の講義時に提出する。
第13回	マイクロからメゾ、マクロを包括したソーシャルワーク実践について（事例紹介）	事前学習	テキスト pp. 27～43 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第15回の講義時に提出する。
第14回	ソーシャルワーク実践と援助関係： ソーシャルワーカーとクライアントとの関係性について理解を深める	事前学習	テキスト pp. 69～93 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	課題1の作成（講義内で示される提出期限厳守）。
第15回	ソーシャルワークの展開過程Ⅰ： ソーシャルワークの展開過程の全体像を理解する	事前学習	テキスト pp. 95～101 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第17回の講義時に提出する。
第16回	ソーシャルワークの展開過程Ⅱ： ケースの発見からアセスメント	事前学習	テキスト pp. 102～126 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第17回の講義時に提出する。
第17回	ソーシャルワークにおけるアセスメントの特性と技術を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 182～204 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト（事例）」を記入し、第19回の講義時に提出する。
第18回	アセスメント演習を通じて学んだことの実践を行う	事前学習	テキスト pp. 182～204 を熟読し、その内容を確認する。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト（事例）」を記入し、第19回の講義時に提出する。
第19回	ソーシャルワークの展開過程Ⅲ： アセスメントからプランニング・支援の実施	事前学習	テキスト pp. 127～136 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト（事例）」を記入し、第21回の講義時に提出する。
第20回	プランニング演習を通じて学んだことの実践を行う	事前学習	テキスト pp. 206～222 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト（事例）」を記入し、第21回の講義時に提出する。
第21回	ソーシャルワークの展開過程Ⅳ： モニタリングと評価・効果測定	事前学習	テキスト pp. 138～153 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	課題2の作成（講義内で示される提出期限厳守）。
第22回	ソーシャルワークのモニタリングと効果測定・評価の技術を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 224～248 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	課題2の作成（講義内で示される提出期限厳守）。
第23回	面接技法Ⅰ： 面接の必要性和果たす役割を理解する	事前学習	テキスト pp. 250～268 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第25回の講義時に提出する。

第24回	面接技法Ⅱ： 面接に必要となる技術を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 250～268 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第25回の講義時に提出する。
第25回	面接ロールプレイ	事前学習	テキスト pp. 269～293 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布される事例について、学んだ知識を用いて模擬的に記録を作成する。
第26回	記録の意義と方法：ソーシャルワーク技術としての記録について事例を基に技術を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 269～293 を熟読し、その内容をノートにまとめる。
		事後学習	講義内で配布される事例について、学んだ知識を用いて模擬的に記録を作成する。
第27回	“交渉”とソーシャルワーク：ソーシャルワークにおける交渉の持つ意義と役割を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 296～315 を熟読し、その内容をノートに記入する。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第29回の講義時に提出する。
第28回	これまでの学びについてのまとめ： 事例を用いてソーシャルワークの展開過程とその他技術について総合的にその内容を確認する	事前学習	これまでの資料等を整理し、学習内容を振り返る。
		事後学習	講義内で配布予定の「確認テスト」を記入し、第29回の講義時に提出する。
第29回	これからのソーシャルワークの課題と展望Ⅰ（ジェネリック）	事前学習	29回の講義において疑問となっている点を箇条書きにする。
		事後学習	ソーシャルワーク実践上の課題について配布されたレジюмеをまとめる。
第30回	これからのソーシャルワークの課題と展望Ⅱ（スペシフィック）	事前学習	29回の講義において疑問となっている点を箇条書きにする。
		事後学習	ソーシャルワーク実践上の課題について配布されたレジюмеをまとめる。